

2 歳出の状況(一般会計)

【総務費】庁舎建設基金積立金1億円が皆減となるものの、本庁舎建設事業費が約8億500万円の増、鉄道活性化等促進経費(JR宇部駅バリアフリー工事費補助金ほか)が約8100万円の増となるなど、全体で、約7億8600万円の増(+10.8%)となっています。

【民生費】生活保護扶助経費や国民健康保険事業会計繰出金が減となるものの、地域型保育事業経費が約1億2500万円、学童保育推進経費が約1億2100万円、乳幼児医療扶助経費が約6000万円、自立支援給付事業経費が約5100万円それぞれ増となるなど、全体で、約2億1900万円の増(+0.9%)となっています。

【衛生費】予防接種経費が減となるものの、ごみ焼却施設整備事業費が約1億400万円、ごみ焼却施設管理運営経費が約6000万円それぞれ増となるほか、ごみ最終処分地整備事業費が約8700万円の皆増となるなど、全体で、約1億8500万円の増(+4.6%)となっています。

【農林水産業費】老朽ため池改良工事(八ヶ谷ため池)5500万円の減等により、約6200万円の減(△6.5%)となっています。

【土木費】公園施設等整備事業費等が増となるものの、見初団地建替事業費が約4億5500万円、沖ノ且末信持世寺線道路整備事業費が5100万円それぞれ減となるほか、西宇部妻崎線道路整備事業費が約4800万円皆減となるなど、全体で、約5億1900万円の減(△7.5%)となっています。

【消防費】宇部・山陽小野田消防組合負担経費が増となるものの、楠出張所整備事業費の約2億6200万円の減等により、全体で、約1億100万円の減(△4.4%)となっています。

【教育費】中学校施設耐震化事業費の減や博物館施設整備事業費の皆減があるものの、小学校施設耐震化事業費が約6億9400万円、恩田運動公園スポーツパーク整備事業費が約2億2700万円、英語教育支援経費が約3000万円それぞれ増となるなど、全体で、約7億7300万円の増(+12.5%)となっています。

【公債費】元金償還金の平成29年度中の完済による減少分が、平成30年度からの償還開始による増額分を約4億8800万円上回り、全体で、約5億5300万円の減(△7.8%)となっています。

(単位:千円)

款	平成30年度		平成29年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
議会費	366,055	0.6%	366,500	0.6%	△445	△0.1%
総務費	8,058,069	12.7%	7,271,677	11.6%	786,392	10.8%
民生費	25,985,616	40.9%	25,766,427	41.0%	219,189	0.9%
衛生費	4,220,800	6.6%	4,035,871	6.4%	184,929	4.6%
農林水産業費	888,985	1.4%	950,697	1.5%	△61,712	△6.5%
商工費	1,783,721	2.8%	1,772,644	2.8%	11,077	0.6%
土木費	6,406,114	10.1%	6,924,879	11.0%	△518,765	△7.5%
消防費	2,204,709	3.5%	2,306,040	3.7%	△101,331	△4.4%
教育費	6,938,735	10.9%	6,165,348	9.8%	773,387	12.5%
災害復旧費	280	0.0%	9,760	0.0%	△9,480	△97.1%
公債費	6,529,070	10.3%	7,081,829	11.3%	△552,759	△7.8%
元金	6,159,848	9.7%	6,647,371	10.6%	△487,523	△7.3%
利子	369,222	0.6%	434,458	0.7%	△65,236	△15.0%
諸支出金	32,402	0.1%	26,434	0.0%	5,968	22.6%
予備費	105,444	0.2%	101,894	0.2%	3,550	3.5%
計	63,520,000	100.0%	62,780,000	100.0%	740,000	1.2%